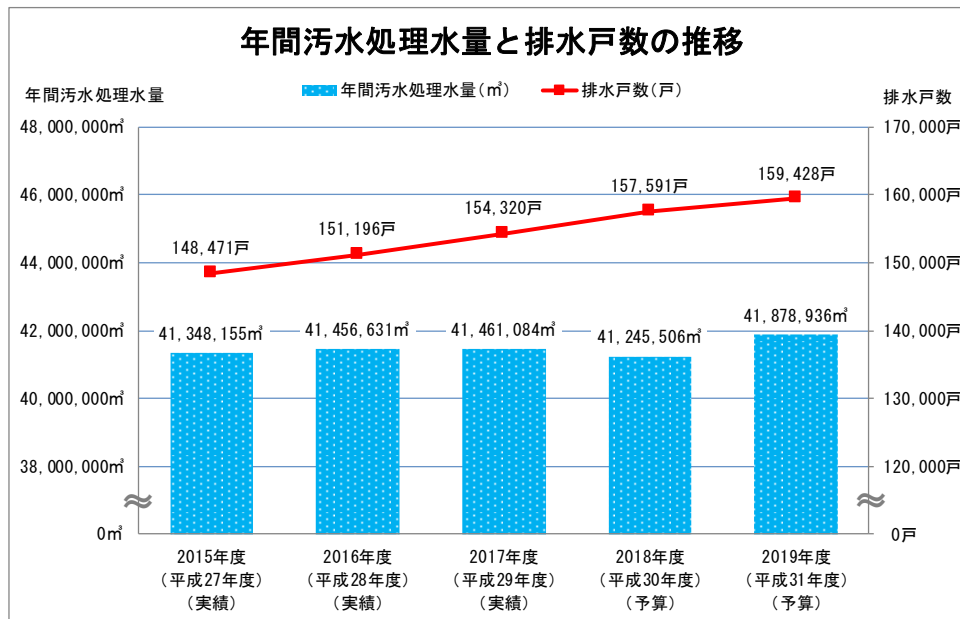


## 下水道事業

### 1 業務予定量

下水道事業の業務予定量は次のとおりです。

項目	2019年度 (平成31年度)	2018年度 (平成30年度)	前年度に対する増減
排水戸数	159,428戸	157,591戸	1,837戸
年間汚水処理水量	41,878,936 立方メートル/年	41,245,506 立方メートル/年	633,430 立方メートル/年
一日平均汚水処理水量	114,423 立方メートル/日	113,001 立方メートル/日	1,422 立方メートル/日
主要な建設改良事業	40億5,753万円	35億7,961万円	4億7,792万円



## 2 建設改良事業の概要

安全で快適な生活環境を確保するため、2019年度（平成31年度）に実施する主な建設改良事業は次のとおりです。

### ○公共下水道整備事業【38億7,100万円】

#### ①国庫補助事業

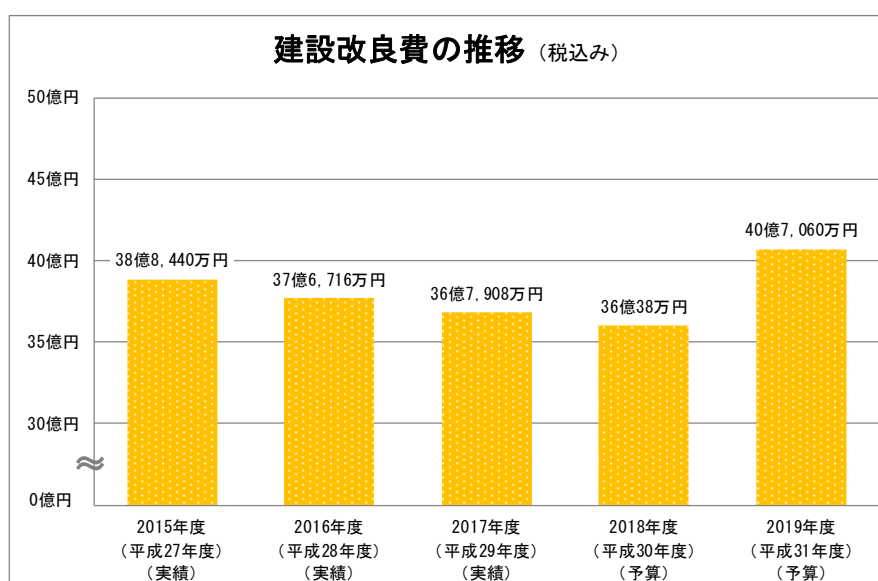
- ・管渠埋設 延長 = 1,230m  
草戸・鞆・大門・坪生・新市・神辺町ほか
- ・浸水対策  
新涯ポンプ場ポンプ設備工事  
手城川流域浸水対策基本設計業務  
森脇ポンプ場基本設計業務ほか
- ・管渠耐震化工事
- ・松永浄化センター長寿命化工事ほか

#### ②市単独事業

- ・管渠埋設 延長 = 2,353m  
御幸・駅家・新市・沼隈・神辺町ほか
- ・浸水対策  
高西東新涯ポンプ場建設負担金（尾道市）ほか

### ○流域下水道整備事業【1億8,653万円】

広島県が整備する芦田川流域下水道の建設にかかる負担金



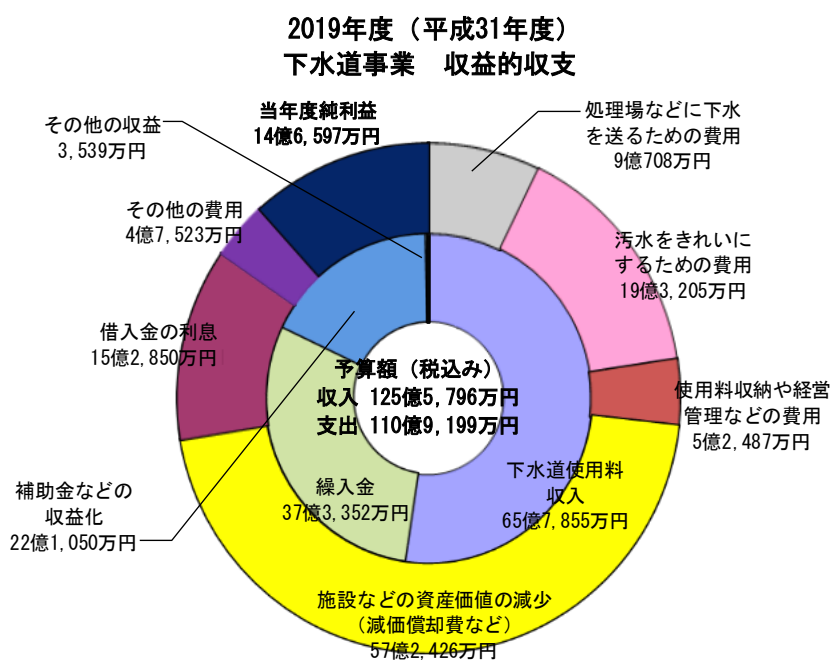
### 3 財政状況等

#### (1) 収益的収支（下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴い発生する収入と支出）

収益的収入は、前年度に比べて2億8,550万円（2.2%）減少し、125億5,796万円です。一方、収益的支出は、前年度に比べて2億2,528万円（2.0%）減少し、110億9,199万円です。

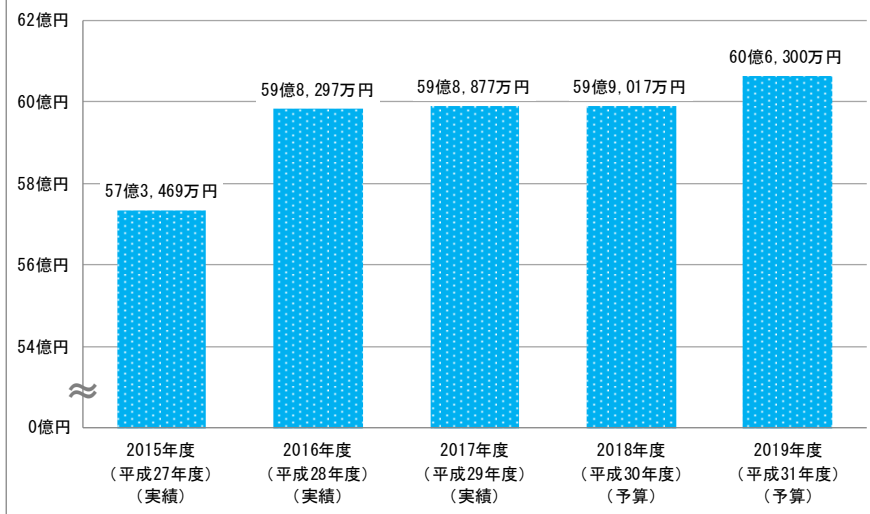
この結果、収益的収入と収益的支出の差し引きは、14億6,597万円の純利益となる見込みです。

項目	2019年度 （平成31年度）	2018年度 （平成30年度）	前年度に対する増減
収益的収入 （うち、下水道使用料収入）	125億5,796万円 （65億7,855万円）	128億4,346万円 （64億6,939万円）	△2億8,550万円 （1億916万円）
収益的支出	110億9,199万円	113億1,727万円	△2億2,528万円
差引	14億6,597万円	15億2,619万円	△6,022万円



※円グラフの内側が収益的収入、外側が収益的支出です。

### 下水道使用料収入の推移 (税抜き)



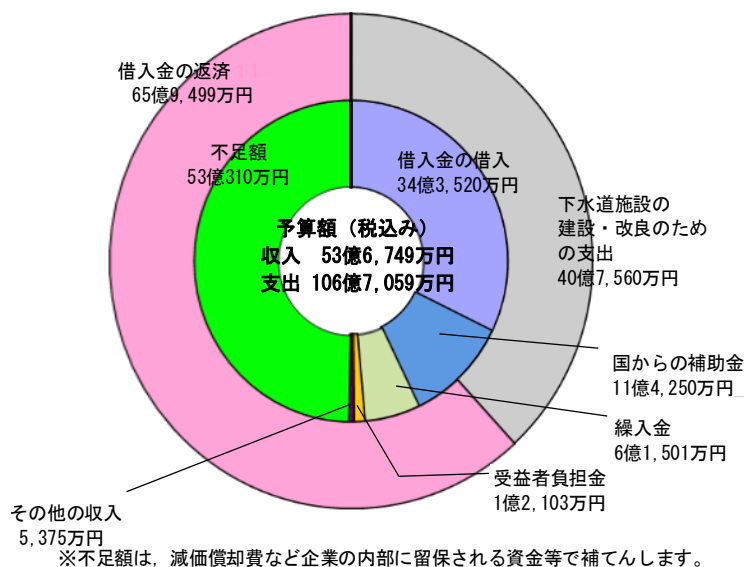
(2) 資本的収支（下水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出）

資本的収入は、前年度に比べて3億3,105万円（6.6%）増加し、53億6,749万円です。一方、資本的支出は、前年度に比べて4億4,912万円（4.4%）増加し、106億7,059万円です。

この結果、資本的収入が資本的支出に不足する額は53億310万円となる見込みです。なお、不足額は、減価償却費など企業の内部に留保される資金等で補てんします。

項目	2019年度 (平成31年度)	2018年度 (平成30年度)	前年度に対する増減
資本的収入	53億6,749万円	50億3,644万円	3億3,105万円
資本的支出	106億7,059万円	102億2,147万円	4億4,912万円
差引	△53億310万円	△51億8,503万円	△1億1,807万円

2019年度（平成31年度）  
下水道事業 資本的収支



### (3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べ 31 億 5,979 万円 (3.6%) 減少し、847 億 6,717 万円となる見込みです。

